

おおた みどり
太田 美登里さん(44歳)

営農地:田川郡川崎町
主な農産物:イチゴ、水稲、
露地野菜(キャベツ等)



まさか私が農業するなんて!!

● 就農のきっかけ

イチゴ農家に嫁いだ縁で

嫁ぐ前は、実家がお米を作っていたこともあり、田植えや稲刈りなどの農作業の手伝いをした経験から「農家は大変な仕事だから、違う職業の方がいいな。」と考えていたそうです。だから仕事は保育園の調理師など農業とは縁のない仕事に就いたのです。

ですが、縁あってイチゴ農家の夫と結婚。「イチゴはもともと大好きだったし、調理師時代によくケーキ作りなどに使用していたこともあり、おいしいイチゴをたくさん食べたい。つくりたかった。」と語る太田さん。

こうして太田さんは夢にも思っていなかった農業をすることになったのです。

● 私の今～就農後の道のり～

仕事にやりがいを見発見!

「育児に関しては、イチゴのバック詰め作業などをしながらも充分子どもの面倒を見ることもできましたし、親子のコミュニケーションも充実していたと思います。また、夫の理解もあり、PTAの役員などを積極的に努め、地域の人とのつながりを築きあげることができました。」と語る太田さん。

「子どもに手ががからなくなってくると、空いた時間を何かに使えないかと考え、私がアイデアを出し、わが家の田んぼで作った米の配達ができると思いつきました。家族に相談すると、その仕事を任されることになり、仕事にやりがいを見つけられるようになりました。」このようにして太田さんは積極的に農業に取り組むようになりました。

15年前には、家族経営協定を結んだことをきっかけに、農作業・生活面での役割分担などを夫と十分に話し合いながら、二人三脚で農業を楽しむ生活を送っています。

「年齢を問わず、初めて会った誰とでも気軽に話せる性格なので、人とのつながりを広げ、販売面でもプラスになっているのでは。」と太田さんは言います。

このことが、太田家の野菜や米の販売の強みとも言えそうです。

● これからの夢、目標

家族みんなで仲良く農業を続けたい

「以前、イチゴのジャムづくりを2、3年した経験や調理師の資格を活かし、今後はイチゴの加工品づくりに再チャレンジしていきたい。」と語ってくれました。

将来は、娘と息子が農業をやりたいと言った時のために、今の生産基盤を維持し、加工にも力を入れ、家族みんなで仲良く農業をやる基礎を作ることが太田さんの現在の目標です。



プロフィール

- 家族構成 / 本人、夫、義父、義母、子3人
- 営農年数 / 約21年
- 耕作(経営)面積 / 7.6ha
- 販路 / JA共販、直売、個人宅配

就農を考えている女性へ ♡

イチゴを栽培していて、ハウスの開け閉めや収穫など、日々忙しく、正月の一日ぐらいしかゆっくりできません。しかし、農業は会社で勤めているより、精神的に楽です。気を使う必要もありません。

新しく就農を志している方へは、どこで就農し、何を作りたいかしっかり検討してください。また、就農する地域で教えてくれる人を見つけることも大切です。